

幼稚園・保育園・認定こども園・小学校 切れ目のない支援体制について

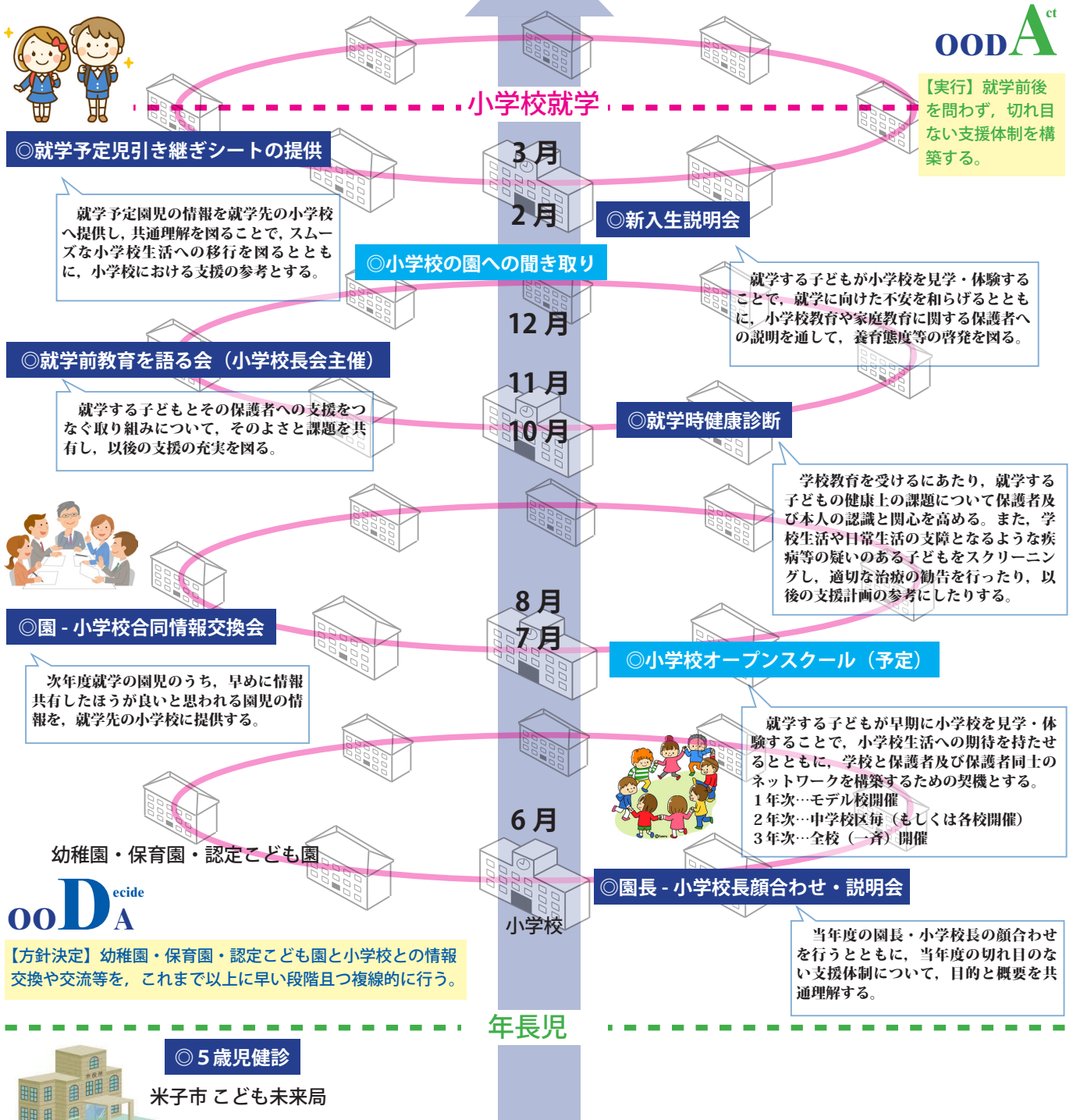
— 情報交換・引き継ぎに関わる体制構造図 (OODA ループ) —

【期待される効果①】 小学校不適応の減少

小学校入学段階において、新1年生の不安や抵抗が軽減されるとともに、小学校が、園から提供された事前情報をもとに適切な支援を行うことで、学校に不適応を起こす子どもが減少する。

【期待される効果②】 適正な学びの場の選択

就学前の早い段階から園と小学校で特別な支援を要する子どもの情報を共有したり、連携をとりながら家庭への働きかけを行ったりすることで、一人一人の子どもに適した学びの場を決定することが可能になる。



【方針決定】 幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との情報交換や交流等を、これまで以上に早い段階且つ複線的に行う。

【考察・判断】 小学校の下学年における不登校や学級が機能しない状況などを改善するためには、これまで以上に幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との連携を密にし、切れ目のない支援体制を築いていく必要がある。

【実態観察】 小学校下学年の不登校の増加、学級が機能しない状況